

2021 年度第 2 回支部集会【北海道支部】

2021 年 7 月 17 日(土)13:00-16:40(受付開始 12:30)

Zoomによるオンライン開催

主催:公益社団法人日本語教育学会

参加費: 無料, 要事前申込(先着順) 定員:80 名

申込開始:北海道内優先 6 月 17 日(木)~, 北海道外一般 6 月 24 日(木)~

申込締切:7 月 10 日(土) ※ただし, 定員 80 名に達した時点で, 締切前でも申込受付を終了します。

※申込はこちらのフォームよりお願いします。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfrVZS44SV36pjqctii-Qxu2zMfj5mB7xim301zpZWwJYGzg/viewform>

※お申込みいただいた方には開催 1 週間前よりシンポジウム, 交流ひろばの各種資料をご案内いたします。

当日のZoom接続用URLは, 7 月 15 日(木)までにご連絡します。 [本支部集会ポスターはこちら](#)

◆支部集会日程◆

12:30	受付開始
13:00-15:10	シンポジウム
15:25-16:35	交流ひろば(6 件) 2つのブレイクアウトルーム間を自由に移動できます。オンライン開催では, 事前に資料をご覧いただき, 当日のZoomでは出展者と 20 分間の意見交換をいたします。
16:40	終了後にオンライン懇親会を予定しています(任意参加)

第1部 シンポジウム 【13:00-15:10】

「北海道北から南まで! つながろう 地域の日本語支援」

留学生・外国人住民が増加する中, 北海道の各地域で日本語学習支援の取り組みが進んでいます。本シンポジウムは, 北海道の各地の特色ある取り組みを紹介するとともに, 各地域が, 直面する課題にどのように取り組んでいるかを共有します。今, 北海道が抱える課題に日本語教育はどのように寄与できるのでしょうか。一緒に考えてみませんか?

【13:00-13:10】シンポジウム趣旨説明と北海道の現状の紹介 北海道大学 式部 絢子氏

【13:10-14:10】<活動報告1>各団体・学校の活動状況報告

- | | |
|--------------------|--------|
| ① いろはの会(北見市) | 伊藤悠紀子氏 |
| ② 江別国際センター(江別市) | 太田 佳美氏 |
| ③ 東川町立東川日本語学校(東川町) | 山口 ちえ氏 |
| ④ 北海道国際交流センター(函館市) | 岡田 朋子氏 |

【14:10-14:25】質問タイム

【14:40-15:10】<活動報告2>日本語教室の空白地域における日本語学習支援者の養成

一般社団法人 北海道日本語センター 二通 信子氏



第2部 交流ひろば 【15:25-16:35】

【15:25-15:45】

① <ブレイクアウトルーム1>「交流から共生へー地域の活動から「北海道」の活動へ」

式部 絢子(北海道大学)

北海道秩父別町で地域活性化に位置づく多文化共生を考える活動をしています。その中で道内各地域の取組が見えにくいことに気が付きました。そこで、Shake HOKKAIDO! Projectに取組み始めました。だれとどんなつながり方が理想的なのか、みなさんと考えたいです。※ビデオをオンにしてご参加いただくと嬉しいです。

② <ブレイクアウトルーム2>「日本語教員が担う管理運営業務のロードマップ作成の試み」

中川 健司(横浜国立大学)・平山 允子(日本学生支援機構東京日本語教育センター)・
浦由 実(アン・ランゲージ・スクール成増校)

日本語教員は、所属機関で授業以外にも学生対応や時間割作成等の様々な管理運営業務を担っています。私たちは、先行研究の調査結果を基に日本語学校の教員がどの段階でどのような管理運営業務に関わり始めるべきかというロードマップを試作しました。本出展では、これを基に日本語教員がキャリア形成の上でどう管理運営業務に関わるべきかについて議論したいと考えています。

【15:50-16:10】

③ <ブレイクアウトルーム1>「ティーチングポートフォリオチャートを活用した授業改善—到達目標と教育理念の比較から—」 谷川 依津江(甲南大学)・阪上 彩子(立命館大学)

TP(ティーチングポートフォリオ)チャートは自分の教育理念を見出し、教育活動を見つめ直すことで自らの授業改善へと繋げることができるワークシートです。このTPチャートを活用し、教員自らの教育理念と所属機関で定められている到達目標とを比較して振り返ることで、コース全体における授業内容・方法の改善を目指すための取り組みを行っています。

④ <ブレイクアウトルーム2>「介護専門用語学習Webサイト『やさしい日本語でまなぶ介護専門用語集』」

布尾 勝一郎(立命館アジア太平洋大学)・中川 健司(横浜国立大学)

私たちは日本の介護福祉士国家試験を受験する外国人介護労働者に対する学習支援について研究しているグループです。介護用語の中には日本独自のものがあり、そのような語を直訳しても必ずしも内容の理解につながりません。そこで、やさしい日本語を用いた介護専門用語学習のためのWebサイトを開発しましたので、ご紹介し、皆様と意見交換をしたいと考えています。介護の日本語の教材や学習支援のあり方などに興味のあるかたはぜひお越しください。

【16:15-16:35】

⑤ <ブレイクアウトルーム1>「アカデミックスピーキング:意見陳述・経験談 発話コーパスの紹介」

半沢 千絵美(横浜国立大学)・伊東 克洋(東京外国語大学)

意見陳述・経験談発話コーパスを公開しましたので、参加者のみなさまにはコーパスの使い方を知っていただくとともに、改善点などご意見いただけるとありがたいです。本コーパスは大学や大学院に在籍する日本語母語話者と、中上級日本語学習者(英語、韓国語、中国語)の発話データを収集したものです。ご興味のある方はぜひご参加ください。

⑥ <ブレイクアウトルーム2>「初級クラスにおけるオンライン及びハイフレックス型授業の「喜怒哀楽」

黄美 花・長谷川 洋枝・屋方 淳子・山本 さやか(北海道大学)

私たちは初級日本語のクラスを担当しているグループです。1年間それぞれの場でオンライン授業を試行錯誤しながら実践してきました。今回は初級日本語のクラスにおけるオンライン及びハイフレックス型授業の「喜怒哀楽」を参加者と共有し、今後につながる前向きな話し合いができればと思います。皆さんもぜひ色々な経験やアイデアをシェアしませんか。



<<オンラインイベントご参加に関するお願い&注意事項>>

- ◆今回のオンライン支部集会はビデオ会議システム「Zoom」のミーティングを使用して実施します。一部のプログラムはブレイクアウトルーム機能を使用します。
- ◆各自が事前に「Zoom」を使用できる環境をご準備ください。なお、ご参加前に必ずお使いの「Zoom」のソフト・アプリケーションを最新の状態に更新いただきますようお願いいたします。また、ブレイクアウトルーム機能を使いますので、可能な方はパソコンでのご参加を推奨します。なお、参加者ご自身のパソコン環境およびインターネット接続環境に起因するトラブルに対しては、学会として責任は負いかねます。「Zoom」の一般的な操作についてのお問合せには対応致しかねますのであらかじめご了承ください。
- ◆参加者による受信映像の録画・録音、画面キャプチャを禁止します。
- ◆複数の端末を使用して本催しに同時に参加することはご遠慮ください。「Zoom」のミーティングに参加するための URL およびパスワードの情報は申込者のみにメールで連絡いたしますので、絶対に他の人に教えないでください。なお、シンポジウムおよび交流ひろばの資料については、開催1週間前よりメールでご案内します。当日の Zoom のURLについては、7月15日(木)までにこちらでもメールでのご案内を予定しています。申込をしたのに学会からのメールが届かない場合は下記問合先までご連絡ください。
- ◆当日は申込時と同一の氏名をフルネーム表示の上、ご参加ください(例:学会太郎)。
- ◆円滑な進行の妨げとなる行為が見られた場合、主催者によってミュート操作を行ったり、接続を切断したりする可能性があります。また、ビデオ会議システム「Zoom」自体や、主催者の通信環境等の当日の予期せぬトラブル等により、プログラムが予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

<支部集会参加に関する問合先>

公益社団法人日本語教育学会 支部活動委員会

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会 2F

Tel: 03-3262-4291(平日 9~18 時) E-mail:shibu@nkg.or.jp

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のための在宅勤務により、お電話をいただいても担当職員が不在の場合がございます。お問い合わせはなるべくEメールにてお願いします。

以上

